

第18回 日本フットボールリーグ

セカンドステージ 第5節

対 アスクラロ沼津戦

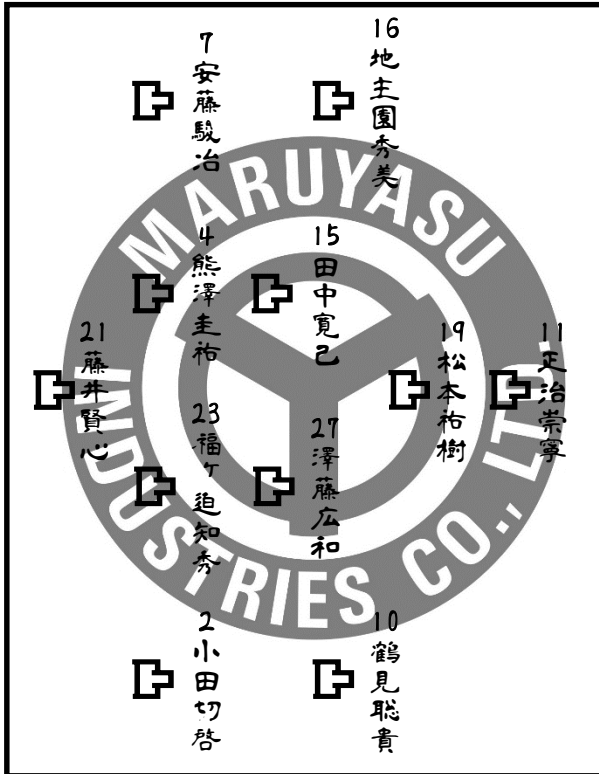
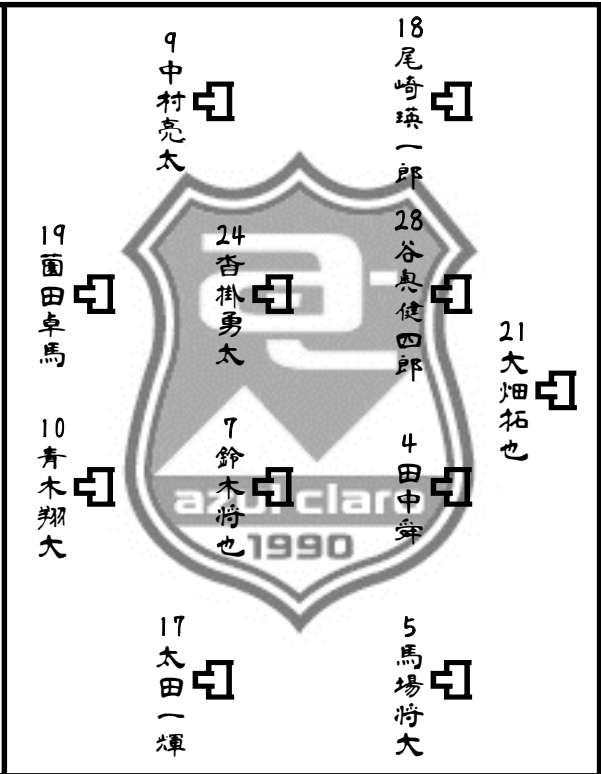
於名古屋市港サッカー場

予想布陣図屏風

(FCマルヤス岡崎蔵)

アスクラロ沼津 監督 吉田 謙

2nd-S 3位(勝点8) 「本拠地」駿河国 沼津市



FCマルヤス岡崎 監督 山村 泰弘
2nd-S 6位(勝点7) 「本拠地」三河国 岡崎市

駿東に描く青写真 アスクラロ沼津

マルヤスとは東海リーグ時代からの戦友で、ともにJFLへ昇格した同期生でもあるアスクラロ沼津。昨年は「ゴン」こと中山雅史選手を補強し、大きな話題を呼んだ。今シーズンは成績も良好で上位をキープ。Jリーグ昇格の青写真は、より一層明るさを増しつつある。

オールド・フレンズ

前節で2nd-S初黒星を喫したマルヤス。今こそ企業チームのとして意地を見せ、再度の巻き返しで今年のJFLを盛り上げたい。一方の沼津は2nd-S無敗を維持。前節の勝利で年間勝ち点2位に浮上し、いよいよJ3への昇格が現実味を帯びてきた。

両者は東海リーグ時代から切磋琢磨した旧友同士。赤と青のブックエンドの間には、刻まれてきた記憶が立ち並んでいる。次の舞台へと歩みを進める沼津。門番の末席に名を連ねようとするマルヤス。今日が最後の戦いとなっても悔いを残すな。旧き良き友人よ、君が征く道を全力で塞がせてもらおう。

興国寺城と三河武士

沼津に築かれた興国寺城は、関東の諸大名が奪い合った要衝として知られる。甲斐の武田、相模の北条、駿府の今川による関東三国志の争いに巻き込まれ、城を巡る動乱は長く続いた。転機が訪れたのは天文23年。この三者が「甲相駿三国同盟」を締結する。これにより争いは収束に向かい、興国寺城にも平穏な日々が戻るかに思われた。だが同盟締結から6年、今川義元が桶狭間の戦いで討たれると、その8年後に今川は滅亡。同盟の破棄に伴い武田、北条の双方が駿河へ侵攻し、北条が興国寺城を奪い取る。その後両者の間で甲相同盟が結ばれ、以降は武田がこの城を支配した。その11年後、天目山の戦いで武田は滅亡。新たに興国寺城を領有したのが徳川家康である。関ヶ原以降は三河三奉行の天野康景が城主となり、興国寺藩の発展に尽力した。

しかし話は終わらない。慶長11年、康景の家臣が盗人を殺めてしまう。罪人とはいえ天領の領民。この問題を巡り、家康は本多正純を派遣した。正純は下手人の引き渡しを求めたが、これに康景は激怒。遂には城を放棄し出奔してしまった。時として主君にも背くほどの信念を持つ三河武士。興国寺城と康景の逸話は、その性格を色濃く表している。

今節のイベント紹介

「よさこいチーム

「DO×DAN」登場」

刻 16時40分

於 ピッチサイド

「ケータリングカー出店」

於 スロープ付近

「1st S写真展

Photo by UNO」

於 コンコース

「選手と遊ぶう企画

フリスビー対決」

刻 16時～17時

於 コンコース

「ハーフタイム抽選会

イケザえもん賞もあるよ」

刻 ハーフタイム

於 ピッチサイド

※賞品の受け渡しは試合終了後となります。お手持ちのチケット半券はお捨てにならないようお願い申し上げます。

本日のウエルカム

ミュージック

毎度おなじみ流浪の企画、ウエルカムミュージックです。相手チームの選手紹介時に、そのチームに関連のある音楽をBGMとして使用します。今日は沼津の名産品「ひもの」と、アスルクラロ沼津の伝説的イベント「沼津ひものマッチ」にちなんだ選曲！



twitter
ikezaemon01

蹴球商店
SANO



カテキン1000mg配合！

グマザワ A

熊のマークの大勝薬品

賢心

一粒であなたを守る

第二類医薬品

藤井模範堂

制作・文責
スタジオ
母子芸人
イケザえもん



次回主催試合 平成二十八年七月三十一日
対 ウアンラーレ八戸 戦

於 豊橋市岩田総合球技場